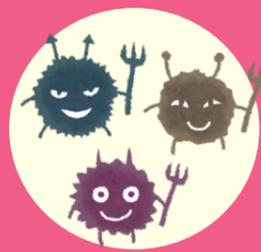




ヘルパンギーナに 注意しましょう



『夏の感染症』として知られているヘルパンギーナが、6月中旬から西日本を中心に流行し始めています。過去の傾向として西から東へ流行が推移し、7月ごろにピークを迎えることが多いため、今後の流行拡大に注意が必要です。

ヘルパンギーナとは

6月から8月にかけて多く流行するウイルス性の疾患で、4歳以下の乳幼児が発症しやすいことで知られています。発症すると突然の38～40度の発熱が1～4日間程度続き、食欲不振・全身のだるさ・頭痛などを起こします。口内炎や口の中に水泡ができることが特徴として知られています。

予防法は

特別な予防法はありません。ヘルパンギーナはウイルス性疾患で、便や唾などからも感染する可能性があります。感染が疑われる人との密接な接触は避けるようにし、流行時には手洗い、うがいをいつも以上に意識して行うようにしましょう。乳幼児がいる家庭では、おむつを取り替える際に2次感染のリスクがありますので、手袋をはめ、マスクをして交換するようにしましょう。



地域医療を一緒に支えてくれる仲間を募集しています。

病院では、治療を行う医師や看護師をはじめ、事務員や調理員など様々な職種のスタッフが働いており、それぞれが自分の役割を果たしながら協力し合って医療サービスを提供しています。

当院では専門職だけでなく、様々な職種の求人情報を公開しています。地域医療を、一緒に支えていきませんか？ 詳細は、当院ホームページ採用情報をご覧ください。

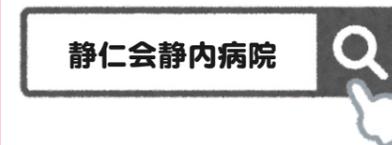


レラ～Rera～



各診療科の外来診療案内は ホームページでご覧いただけます

インターネットで
静仁会静内病院と検索してください



目次 ～Contents～

- 院長の独り言
- 看護部・部署紹介
～3階西・急性期病棟～
- 村上医師の診療を開始致します
- 研修医紹介
- ヘルパンギーナに注意しましょう
- 仲間を募集しています



院長の独り言

タバコの三次喫煙を考える

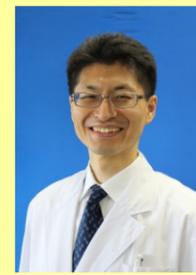


まだ精密な研究結果はありませんが、タバコの健康被害に「三次喫煙」という考え方が提唱され注目されています。タバコを吸っている人が自分でタバコの煙を吸うのが「一次喫煙」タバコを吸っている人から出るタバコの煙をそばにいる人が吸い込んでしまうのが「二次喫煙」です。二次喫煙を減らすために、公共の場所や職場での「分煙」は当たり前になってきています。ところが、今注目されているのは、タバコの煙そのものを直接吸い込まなくても、部屋や衣服に染み付いた煙の成分を吸い込む「三次喫煙」によって健康被害が起きる可能性があるということです。

「三次喫煙」が注目されるきっかけになった論文が2009年に米国で発表されています。それによりますと、タバコを吸った後の部屋にニコチン成分が残り、このニコチンが空気中の成分と反応して、発ガン物質として有名なニトロソアミン類へと変化することが立証されています。ですから、家や職場や飲み屋で部屋や衣類などに残った発ガン物質を日常的に吸い込むことで、ガンになる危険性が上昇する可能性があるのです。

国立がん研究センターの研究者によりますと、まだ仮説ではありますが、通常の大人よりも、妊婦や子供の方がより影響を受けやすい可能性があります。子供は身体が小さいので、同じ量の発ガン物質を取り込んでも、大人と比べますと影響が大きくなるようです。特にハイハイしている赤ちゃんは床との距離が近いですし、床に落ちているものを口に入れることもあるので、より影響を受けやすいと思われるます。

「二次喫煙」「三次喫煙」を防止するためには、室内や車内での喫煙を決して行わないようにすることが最も重要です。服にニコチンを染み込ませて歩き回るのは、発ガン物質をまき散らしていることになるのです。



村上 友宏 医師
札幌宮の沢
脳神経外科病院より

7月より脳外科・村上医師の診療を開始致します。

趣味：ソフトテニス・庭いじり

札幌宮の沢脳神経外科病院から、漢方研修にきています。この度、7月より水曜日の午後の外来診療を担当させていただくことになりました。一般的な脳の病気はもちろんですが、脊椎脊髄や末梢神経の病気も守備範囲です。険しい顔をしています、なんでもお気軽にご相談下さい。



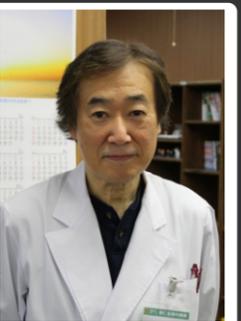
研修医紹介

6月の前半2週間を水野医師に、
1ヶ月間を川上医師・望月医師にお越しいただきました。

水野 隆史 医師

趣味：ドライブ

2週間の研修期間はあっという間に終わり、十和田に帰る日になってしまいました。しかし、ここ静内で優秀な先生方のご指導を受け、また、各地からきている研修医の皆様へ接し、自分がどれだけ遅れをとっているかを認識することができました。これから研鑽を積み、しっかりとした医師になって再び静内に戻ってくる機会を作ればと思います。ありがとうございました。



望月 秀峰 医師



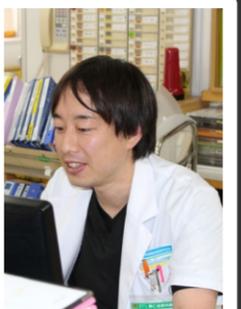
趣味：ラグビー

埼玉県は上尾市にある上尾中央総合病院から1ヶ月間研修に参りました。地元が札幌ということもあり、地域医療を学ぶべく来ましたが多々、洗礼を受けました。そんな中、3階西、2階南病棟をはじめ、スタッフの皆様へフォローされつつ成長させていただきました。短い期間でしたが、本当にお世話になりました。

川上 寛人 医師

趣味：ゴルフ

千葉県の君津中央病院から研修のために来ました川上寛人です。研修では熱心な指導をしていただける先輩方、優しくサポートしていただけるコメディカルの方々のおかげで、とても充実した研修期間を過ごすことができました。私の後輩にも、静仁会静内病院での研修を薦めたいと思います！本当にありがとうございました。



～看護部・部署紹介～



3階西 急性期病棟

今回は急性期病棟の紹介をします。急性期病棟では看護師19名、看護補助者9名のスタッフが勤務しています。外科、内科、整形外科、人工透析等の患者様が、入院されており、夜間の救急にも対応していますので、昼夜を問わず入院が見られ、スタッフは忙しく業務に当たっております。院内部署のなかでは平均年齢が一番低い部署で、若さいっぱい活気あふれる病棟です。日々の業務は大変ですが、皆笑顔で乗り切っています。